

# 記載例

申出者氏名

申出者住所

申出目的

## ①必要性があると判断した理由を記入してください

\*現在の状況を踏まえて除外が必要になった理由、緊急性がある理由

(必要性)

現在、市外にアパートを借りて妻1人、子2人の家族4人で生活しています。実家の農業を継ぐため、仕事を退職し地元に戻ることになり、市内で自己用住宅の建築を計画しました。実家(〇〇町〇-〇)に暮らす父母は高齢であり、生活介護が必要なこと、また主たる耕作地が実家近くであることから、父母の支援ができ、効率的な営農が期待できる実家近くに住宅を建築する必要があります。

(緊急性)

父母の生活介護が必要であり、また1日でも早く営農での安定した生活基盤を築く必要があります。加えて子2人の成長に伴いアパートが手狭になってきていることから、早急な住宅建築が必要です。

## ②規模が妥当であると判断した理由を記入してください

\*申出の目的(利用目的)の規模、性格、機能等から最小限必要な除外規模である説明

住宅敷地として木造2階建て 4LDK、建築面積〇〇㎡・延べ床面積〇〇㎡ 1棟

駐車場2台分のスペース 25㎡ (1台あたり5m×2.5m=12.5㎡)

庭用地 〇〇㎡ の設置を計画しているためやむを得ない規模であると判断しました。

## ③代替性がないと判断した理由を記入してください

\*農用地区域外の土地では代替できない合理的理由や選定根拠についての説明

自己用住宅を建築するにあたり、私及び配偶者が所有する土地はありません。また新たな土地を取得する資力もないことから父母に相談したところ、母は所有地がないものの、父はいくつか土地を所有しており、土地を使用する許可が得られましたので、父の所有地から検討しました。父の所有地のうち、宅地は既に住宅や倉庫が建っており、適当なスペースはありません。またその他の土地は全て農地(農用地区域)であることから、実家敷地南側に隣接し、周囲の営農に大きな影響を及ぼす恐れがない申出地を選定しました。なお選定過程については別紙「土地選定経緯書」のとおりです。

#### ④土地利用計画について

##### (進入路)

西側県道(〇〇線)から進入

---

##### (取水・排水計画)

取水：東部水道企業団上水道から取水

---

生活排水：合併処理浄化槽を設け、敷地内浸透処理します

---

雨水排水：周囲をL型擁壁で囲み、敷地内に砂利敷き、浸透処理します

---

##### (造成計画)

敷地内1m盛土、周囲をL型擁壁(1,250mm)で囲う

---

##### (隣接地の状況：道路・田・畑・住宅等)

東側	畑	西側	道路
南側	畑	北側	宅地

---

隣接地(道水路を介する場合を含む)が農地の場合、

##### ・農地及び農作物に与えることが予想される被害を防ぐ具体的措置

西側は県道に、北側は実家敷地に隣接しているため影響はありません。建物の高さは2階建て、5mに対して、東側農地については建物から10m、南側農地は12m離隔を取るため、日照・通風への影響は軽微であります。敷地内を1m盛土しますが、周囲をL型擁壁で囲うため、土砂・雨水の流出を防ぎます。また申出地に隣接する土地改良施設はありません。

---

##### ・土地所有者及び耕作者からの承諾等(土地所有者及び耕作者への説明状況を記載)

東側、南側とも同一の土地所有者自らが耕作をしており、〇月〇日に当該申出に基づく計画について説明申し上げたところ、快く承諾していただきました。

---

分筆する場合、

残地の土地利用について(誰がどのような耕作を行うのか)

所有者である父が引き続き自己用畑として耕作します。

---